

全中道研会報

令和5年12月22日 No.3

全日本中学校道德教育研究会
<https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350010>



第57回北海道函館大会報告

北海道道德教育研究会会長 荒川 芳央

準備段階においてもまだコロナ禍による影響が避けられない中、永井貴之大会実行委員長の下、全国各地から多数の皆様のご参加をいただき、第59回全国小学校道德教育研究大会・第57回全日本中学校道德教育研究大会、並びに第58回北海道道德教育研究大会北海道函館大会を盛会のうちに終えることができました。

特に全日本中学校道德教育研究大会としては4年ぶりに会同しての開催となり、感激もひとしおでした。開催に向け、ご尽力いただきました大会実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

本大会は、研究主題を「主体的に学び合う児童生徒の育成～Well-beingの実現を目指した道德教育の推進～」とし、これからの道德教育の在り方をこれまでの実践を振り返りながら模索し、追究する大会となりました。

小学校では函館市内から複数の学校の児童が鍛神小学校に集い、6学級の授業公開を行うとともに授業分科会では熱のこもった研究討議をいただきました。授業者の熱量が伝わる討議が繰り広げられ、実り多い授業研究分科会となりました。また、中学校では亀田中学校の全学級道德が展開され、ローテーション道德やTTによる授業、ICTの活用など、道德推進教師が中心となり、学校が組織的に展開する道德科の授業実践について提案がなされました。校長のリーダーシップの下、道德推進教師を核とし、学校全体で進める道德教育・道德科の授業実践の在り方について、学ぶことの多い提言となりました。研究討議では、全員が参加して意見交換できる「えんたくん」を活用して、参会者全員が発信者として交流し合うことができ、各地で実践を

重ねる方々の貴重な考えを交流することができました。



課題別分科会では、小・中それぞれの会場で、5分科会各2提案ずつの合計20本の実践発表が行われ、全国各地の貴重な実践について交流することができました。どの地域においても、コロナ禍における実践に多くの困難を抱えながらも、オンラインでの研修も実施しながら、道德教育推進の歩みを止めないとの思いで積み上げた実践が多く紹介されました。

2日目の指導講話では、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 堀田竜次先生より、「よりよく生きるための基盤となる道德性を養う道德教育の推進・充実」と題して、大会1日目に公開された授業についての解説を交えながら、授業実践を基にした講話をお聞きすることができ、明日の授業から活かせる貴重なご示唆を多くいただくことができました。

また、教育現場の働き方改革にも配慮し、持続可能な大会の在り方についても探りながら、コンパクトな大会運営を意識し、コロナ禍を克服し次代へつなげる運営の在り方についても考えることの多い大会となりました。今後の大会運営においても参考となる提案となったのではと感じております。

結びになりますが、本大会の開催に当たりご指導を賜りました文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 堀田竜次先生、井上結香子先生をはじめ、北海道教育委員会、函館市教育委員会、授業実践をいただいた函館市内各小学校の校長先生各先生方、亀田中学校の校長先生各先生方並びに研究を支えていただいた函館市道德研究会の皆様、大会運営を支えていただいた実行委員長永井貴之校長先生はじめ大会実行委員の皆様、そして大会開催に向けて常に支え

ていただいた全日本中学校道德教育研究会会長、事務局の皆様、並びに開催にお力添えいただきました上廣倫理財団、石橋財団の皆様にご心よりお礼を申し上げます。



ブロック大会中国大会報告

岡山県中学校教育研究会道德部会長 前田敦子

1 大会主題

変化の時代をたくましく、共にによりよく生きる力を育てる道德教育

2 Web 公開期間

令和5年8月7日(月)～8月24日(木)

3 大会内容

○授業動画配信 岡山市立富山中学校

1年 内容項目 よりよく生きる喜び

教材名 よみがえった良心

授業者 教諭 和田 孝文

2年 内容項目 自主、自律、自由と責任

教材名 ジョイス

授業者 教諭 蒲本 真未

3年 内容項目 友情、信頼

教材名 ライバル

授業者 教諭 佐々木 皓平

(現 岡山大学教育学部附属中学校)

○課題別分科会 (誌上発表)

第1分科会

「道德教育を推進する指導体制の在り方」

提案者 岡山市立竜操中学校 荒島 永作

福山市立芦田中学校 長尾 実咲

第2分科会

「多様な方法を取り入れた道德科の工夫」

提案者 玉野市立日比中学校 兼本 亜美

米子市立加茂中学校 南葉 知佳

第3分科会

「現代的な課題に応じた道德科の工夫」

提案者 倉敷市立玉島西中学校 美若 辰徳

松江市立湖南中学校 安部 寿美

第4分科会

「道德科における指導と評価の在り方」

提案者 総社市立総社中学校 岡部奈津子

総社市立総社東中学校 横田貴弘

岩国市立通津中学校 村尾 健太

○指導講話動画配信

『特別の教科 道德』における質の高い

学習指導と評価」

～指導と評価の一体化による「主体的・

対話的で深い学び」の実現～

京都産業大学現代社会学部教授

柴原 弘志 氏

4 大会を終えて

本県では、令和3年度から大会開催に向けた準備を計画的に進めてまいりました。早い段階で Web 開催を決定したことにより、会場設営・大会運営・渉外等の事前準備にかかる業務が削減され、授業実践及び研究推進に注力することができました。大会期間中、250名の皆様方に参加していただき、大会を無事終えることができました。参加していただいた方からは、「夏季休業中の Web 開催は参加しやすく、よい研修の機会になった。」との感想をいただくことができました。大会準備を通して、中国地区の先生方とのつながりを強く感じることも成果の一つといえます。

本大会の開催にあたり、授業公開及び分科会提案をしていただいた皆様、助言者の皆様にご衷心より感謝申し上げます。

ブロック大会東北大会報告

東北地区中学校道德教育研究会長 清野智子

1 大会主題

ともによりよく生きるために、探究し高め合う生徒の育成

2 期日

令和5年 9月21日(木)

《第1部 分科会・記念講話》

令和5年10月19日(木)

《第2部 授業公開・検討会》

3 会場

日立システムズホール仙台 (第1部)

仙台市内中学校(3校) (第2部)

4 開催方法

久々の参集型大会開催であるため、開催地の会員が必ず参加し学べる定例会での日程設定、県内外の教員が研究紀要とともに映像で学べる配信設定、感染拡大時に対応できる分散開催設定とし、様々に簡略しつつ実現可能な範囲で実施した。

後日大会紀要を発行送付、同時に期間限定で大会内容の集約版を配信公開した。

5 内容

【分科会】

第1分科会 道德の授業づくりの工夫

◇考えを広げ、深める対話的な学びの工夫

九戸村立九戸中学校 教諭 會津 響平

◇「考え、議論する道德」を実現するための質の高い多様な指導方法を取り入れた授業づくり

青森市立北中学校 教頭 加福 欣克

第2分科会 道德教育を推進する指導体制の在り方

◇学びをつなぎ、自己の成長を実感できる生徒の育成

川西町立川西中学校 教諭 安部 慎也

◇他者との対話を通して、自分を見つめ、よりよく生きようとする生徒の育成

潟上市立天王南中学校 教諭 鈴木理恵子

【記念講話】

「よりよく生きることを探究する道德教育」

講師：国立教育政策研究所

教育課程研究センター基礎研究部

総括研究官 西野 真由美 氏

【公開研究授業】

◇第1学年授業

「僕を探しに」(個性の伸長)

仙台市立七北田中学校 教諭 亀井 佳子

◇第2学年授業

「宝塚方面行きー西宮北口駅」

(遵法精神、公德心)

仙台市立将監中学校 教諭 園畑 裕也

◇第3学年授業

「人間の命とは一人間の命の尊さ・大切さを考える」(生命の尊さ)

仙台市立八乙女中学校 教諭 鈴木 梨奈

第1部として、分科会の発表では、学校全体で道德教育を推進する取組や、ICTを使った指導方法の工夫等が発表され、参加者の学びが深まり好評であった。また、記念講話では、道德教育の現状や持続可能な「ウェルビーイング」を目指す教育展望が示され、これからの指導への指針をいただいた。

第2部の授業公開では、各会場での特色ある授業(p4c応用・基本型探究・ICTベン図活用に、それぞれ練り上げた発問や切り返し)に、生徒たちが引き込まれ考えを深める姿があった。その後の検討会においても、視点に沿った協議が行われ、感想や提案が積極的に飛び交う有意義な時間となった。



第3回役員・理事会<ハイブリッド開催>

日時:令和6年3月2日(土)

会場:東京都板橋区立赤塚第二中学校

※当日は、関中道研役員・理事会、全中道研副会長会も開催します。開始時間やZOOM等については後日配付する開催案内をご確認ください。

ブロック大会近畿大会報告

近畿中学校道徳教育研究会長 井上健剛

1 研究主題

多様化する社会の中でよりよく生きる力を育む道徳教育～自他の尊重につながる主体的・対話的な道徳授業の実践～

2 期日

令和5年11月17日（金）

3 会場

姫路市立東中学校・姫路市市民会館

4 公開授業

姫路市立東中学校

- | | | |
|----|------|-------------|
| 1年 | 内容項目 | よりよく生きる喜び |
| | 教材名 | いつわりのバイオリン |
| | 授業者 | 水田 敬司 |
| | 内容項目 | 自主、自律、自由と責任 |
| | 教材名 | 裏庭のできごと |
| | 授業者 | 川前 有美加 |
| 2年 | 内容項目 | 思いやり、感謝 |
| | 教材名 | 夜のくだもの屋 |
| | 授業者 | 安達 翔 |
| | 内容項目 | 思いやり、感謝 |
| | 教材名 | 乗り出なかった友 |
| | 授業者 | 江崎 朱里 |
| 3年 | 内容項目 | 遵法精神、公德心 |
| | 教材名 | 二通の手紙 |
| | 授業者 | 出口 薫 |
| | 内容項目 | 友情、信頼 |
| | 教材名 | 違うんだよ、健司 |
| | 授業者 | 大田 尚美 |

姫路市市民会館（新宮中学校の授業録画）

- | | | |
|----|------|-------------|
| 1年 | 内容項目 | 節度、節制 |
| | 教材名 | 釣りざおの思い出 |
| | 授業者 | 渡会 百華 |
| 2年 | 内容項目 | 家族愛、家庭生活の充実 |
| | 教材名 | 一冊のノート |
| | 授業者 | 廣川 修人 |
| 3年 | 内容項目 | 遵法精神、公德心 |
| | 教材名 | 元さんと二通の手紙 |
| | 授業者 | 小野 美由紀 |

5 課題別分科会

兵庫県「共に学び合い、さらに考えを深める授業づくり」

提案者 一宮中学校教諭 田村 真央

助言者 淡路市教育委員会事務局教育部
学校教育課学校経営指導員 那倉康知

和歌山県「学校全体での道徳科『授業改善』への取り組みとICTを活用した授業について」

提案者 明和中学校教諭 山本 晃平

助言者 和歌山県教育庁紀南教育事務所
学校指導課指導主事 龍田 俊樹

滋賀県「新しい自分に出会う『特別の教科 道徳』の在り方～自分事と捉える道徳教育～」

提案者 マキノ中学校教諭 浦島 利宇

助言者 滋賀県教育委員会事務局
幼小中教育課指導主事 野々村 愛子

大阪府「『主体的・対話的で深い学び』を実現させ、よりよい生き方を考える～生徒全員が対話を通して『生き方』についての考えを深められる道徳科授業をめざして～」

提案者 誠風中学校校長 向井 説行

助言者 泉大津市教育委員会事務局
指導課指導主事 森田 有加里

京都府「特別の教科『道徳』の質的転換をめざして～京都府下全校でのアンケートをもとに～」

提案者 日新中学校教諭 田中 昭徳

助言者 京都府中丹教育局学校教育担当
指導主事 渡辺 幹子

奈良県「『問題解決的な道徳科の授業の創造』に向けた取組と授業実践」

提案者 吉野中学校教諭 車谷 泰典

助言者 香芝市立下田小学校校長
関川 圭造

6 指導講評

兵庫教育大学大学院教授 谷田 増幸 氏

7 記念講演

演題「教科化以後の道徳科授業の問題」

横山 利弘 氏

第2回役員・理事会報告

令和5年11月1日(水) 16:30~17:30に、北海道函館大会会場である函館市立亀田中学校とZOOMを活用したハイブリッド型にて開催いたしました。

○大会会場校長挨拶と感謝状贈呈

大会副実行委員長 吉田 敬三 様

○全日本中学校道德教育研究会長挨拶

会長 月田 行俊 様

○来賓挨拶

◇文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程調査官 井上 結香子 様

◇上廣倫理財団 上田 博次 様

◇全中道顧問 斉藤 直子 様・永林 基伸 様
鈴木 明雄 様・菅野由紀子 様
江川 登 様(リモート)

○功労者表彰について【審議】

各地区からご推薦いただいた4名の方を賛成多数で承認いたしました。

○今後の全国大会予定について

◇令和6年度 神奈川大会

令和6年11月21日~22日 川崎市
一次案内はHPに掲載しています。

◇令和7年度 岐阜大会 岐阜市

令和7年11月27日~28日
会場校等が決定いたしました。

◇令和8年度 東京大会

日程等今後調整していきます。

◇令和9年度 奈良大会

日程等今後調整していきます。
※大会情報はHPに掲載していきます。

○事務局より

◇令和6年度「中学校道德教育実践事例集10」の執筆者について

※執筆者を今年度からご検討ください。

◇令和6年度道德教育推進教師養成講座の参加者推薦について(定員40名を予定)

※6年度も模擬授業を行う形式で実施予定。多くの先生方をご推薦ください。

◇令和5年度会費(分担金)納入について

※ご協力ありがとうございました。
領収書は送付済です。ご確認ください。

◇2023年度道德教育助成金報告書について

※年度末までにご提出ください。

◇ブロック変更について

長野県 東海北陸 → 関東甲信越へ
三重県 近畿 → 東海北陸へ

○第57回全日本中学校道德教育研究大会北海道函館大会報告および協議

◇北海道会長より報告 荒川 芳央 様

- ・函館大会は、日頃から実践している「手作りの授業」、「研究や取組」を見てもらうことを目標に実施しました。
- ・小学校と一緒に実施する形を決めてから、コロナ等もあり、大変なことばかりの準備期間でした。どれだけできるかとても心配だったが、今日、多くの皆さんからお褒めの言葉をいただき、本当にうれしかった。
- ・本日配布資料の指導案集の中に、亀田中の校長、吉田先生が「今日の子どもたちや先生方の姿は、日ごろからの積み重ねによるものです。」と書かれています。今日の亀田中の公開授業は、生徒と先生の信頼関係が作り出す、温かくて素晴らしい授業でした。

◇大会参加者(理事)の感想

- ・子供たちの自然な形の対話が素晴らしかったです。
- ・先生も子供も素晴らしかったです。新しい道德の形で勉強になりました。
- ・「えんたくん」の協議は新鮮でよかったです。
- ・ウェルビーイングの道德ためになりました。
- ・組織的に道德教育を進めていくところを見せていただき、とても勉強になりました。
- ・公開授業でも、課題別分科会でもたくさんのアイデアをいただきました。
- ・頑張る先生、生徒の姿に勇気づけられました。
- ・昼食会場の黑板に、子供たちからの「ようこそ」の言葉があり、その心の素晴らしさに感動しました。

- ・子供の素顔、笑顔がよかったです。
- ・ICT の個性が光るいろいろな使い方を見せていただき、勉強になりました。授業後に生徒が「疲れたー」と言っているのを見て、頑張ったんだろうなーとほほえましく思いました。
- ・ICT (パドレット) での意見交換など素晴らしかった。
- ・子供がワクワクする様子が見られた。廊下でトイレの場所を尋ねたら、生徒が「昨日できたばかりのトイレがあちらにあります」と教えてくれた。そのおもてなしの気持ちが素晴らしい。
- ・いろいろ学んだことを、持ち帰ります。
- ・ICT もすごいが、先生方が、全員で授業をやっているのが参考になった。(栄養教諭が IT に入るなど)
- ・先生方が、楽しそうに授業を作っていたのが印象的でした。課題別分科会での各県の取組も参考になりました。
- ・今日のプログラムについて、授業の振り返りの時間があると、授業を作られた先生のためにもよかったのではないかと思います。
- ・鹿児島県ではコロナで中学校の道德研究会が休止状態です。こちらで学んでくるように言われてきましたので、戻って還元したいです。温かさの伝わる授業でした。
- ・全校をあげての道德授業で素晴らしかった。ローテーションで授業をしているということで、先生方が垣根なく学級経営をされているのだろうな、と感じました。
- ・地域の人に道案内をしてもらい、あたたかな地域だと感じました。
- ・学校挙げての道德授業に敬意を表します。
- ・今日の授業を見て、心震わせる場面や子供たちの輝く瞳に、道德は素晴らしいなと実感しました。
- ・主体的にいきいき取り組む生徒と、ICT を活用した授業が素晴らしかった。

◇井上教科調査官より

- ・このような会を続けていくのは本当に大変なことで、理事の皆様方に敬意を表します。
- ・今日の亀田中学校での公開授業や授業研究分科会、課題別分科会ではとても幸せな時間を過ごさせていただきました。吉田校長先生の「道德教育をみんなでやっていく」という思いの下、先生方も、生徒たちも同じ思いで取り組んでこられたのでしょう。先生方は自信をもって授業されているし、生徒たちもそれに応えたい、という思いが授業中の姿から伝わってきました。
- ・校長のリーダーシップは道德教育の推進には欠かせないものです。組織マネジメントの視点からの研究の推進について、ぜひ全国で参考にしていただければと思います。
- ・令和3年の「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」(中教審答申)を踏まえて、例えば、ICTの活用が学校教育全体で推進されているところす。しかしともすると生徒がディスプレイの画面に集中し、他者との対話の時間が逆に短くなってしまっている授業も散見されるところです。道德の特質を踏まえた ICT の効果的な活用を推進していくことが大切です。考え議論する道德で質的転換を図っていくことが求められます。
- ・課題別分科会でも各都県とも工夫や特色のある発表で、私自身も勉強になりました。
- ・公開授業では、役割演技に取り組んだ先生がいらっしゃるなど、さまざまなチャレンジがみられました。中学校という発達段階を踏まえ、多様な指導方法にぜひこれからも挑戦していただきたいと思います。
- ・今日の研究大会を「素晴らしかった」と終わりにするのではなく、成果を踏まえて次へと皆さんで繋いでいく、道德教育をますます発展させていただきたいと思います。

○感謝状贈呈

北海道会長 荒川 芳央 様

大会実行委員長 永井 貴之 様